

農産物の免疫力強化、生産性向上技術

安全性の高い自然物由来オリゴ糖BS資材の開発と製品化

3種オリゴ糖 (Oligo-Mix) を含むBS資材 (肥料登録)

キシロオリゴ糖 (ヘミセルロースの構成成分)

セロオリゴ糖 (セルロースの主成分)

キチンオリゴ糖

2024年2月に上市

Oligo-Mixの効果 成長促進 (免疫力向上)

Cont. Oligo-Mix

Cont. Oligo-Mix

Cont. Oligo-Mix

Cont. Oligo-Mix

配布先: 文部科学記者会、科学記者会、名古屋教育記者会、北海道教育庁記者クラブ
報道機関 各位
2024年2月1日

甲殻類と植物の細胞壁由来のオリゴ糖を用いた バイオスティミュラント (植物成長や免疫の活性化資材) を製品化 - 産学連携研究の成果 -

自然界の植物は、細胞が壊れたときに放出される細胞壁由来のオリゴ糖¹⁾を「体が傷ついた指標」として認識します。また植物の病原菌には甲殻類由来のオリゴ糖と同じ成分が含まれていることから、植物が甲殻類オリゴ糖を認識すると、「免疫力」を高める遺伝子が活性化されます。北海道大学、名古屋大学などの研究グループは、オリゴ糖の効率的な合成法の開発、植物へのオリゴ糖の作用や認識機構の解析を行いました。この知見を生かして開発されたバイオスティミュラント²⁾資材が、株式会社レゾナリ製品化されました。

散布マニュアルの整備

クロピコ散布マニュアル - バレイショ -

まだ使われていない力があつた KROPICO

イモ数を増やし、かつ イモ一個を適度に大きくしましょう。単収20%の増収を目指す！

クロピコは ストロノ (イモになる地中の茎) を含む発根・増殖を促進し、光合成の向上によるイモの肥大を促進させます。

	種イモ・浴光芽	定植・萌芽・ストロン伸長	栄養成長期・ストロン機能化	開花・塊茎肥大期	収穫
散布方法	浴光芽芽生時に、可能であれば1000倍希釈液をイモに散布。	定植後3週間が過ぎた後、ストロンの伸長期にクロピコ1000倍希釈液を葉面散布します。2020日の散布が特に効果的です。	①以降2週間ごとに開花前まで2回程度、クロピコ1000倍希釈液を葉面散布します。イモの肥大促進を自覚します。その後、収穫期まで散布を継続します。	開花後はイモも適期開花後、クロピコ1000倍希釈液を葉面散布し、イモの肥大促進を自覚します。収穫期まで散布を継続します。	M-2Lサイズの最盛増大、収穫量増大をターゲットにクロピコ散布マニュアルを作成しています。手順を簡便にします。クロピコ散布の仕方に注意。
期待する効果	発根促進、活着性向上、草勢向上。	発根促進、特にストロンの伸長。	光合成の向上、各種ストレスの緩和。	イモ肥大、健全な育成。	

まだ使われていない力があつた

根菜類、穀物類、果菜類、花きなどの
発根と成長を促進
健全な育成

液状肥料
新バイオスティミュラント
KROPICO
クロピコ

機能的な各種オリゴ糖配合

作物の生命力を刺激し、潜在力を覚醒させ、農家の皆さまの営農に貢献します。

ゴミが減らせるエコ包装
300mL、1000mL、3000mL

環境ストレスに打ち勝つ自然免疫の強化

RESONAC

レゾナックは持続可能な農業の創造に貢献します

1931年 昭和電工(株)は国産最初の硫酸肥料製造を行い、日本の農業を支えました。
2023年 (株)レゾナックに生まれ変わり、BS資材クロピコでこれからの農業を支えます。

【天然物由来でSDGsに貢献】
天然物由来原料から選んだ数種類の機能的オリゴ糖が主成分です。
化学合成原料は一切配合していません。生物にも優しいサステナブルな商品です。

含有するオリゴ糖の機能は科学的に証明されています。

クロピコ効果

昨今の高温/低温障害・干ばつ被害・長雨/日照不足被害の緩和にも期待

発根促進	草勢向上	根菜類の伸長	健全な育成	収穫量の向上

対象作物 根菜類・穀物・豆類・果菜類・花き類・果樹

【使用方法・使用上の注意】
● 散布時期 播種前・育苗期・定植後・生育期
● 散布量 播種前・育苗期 1000倍 定植後・生育期 1000倍/1000倍/1000倍
● 散布回数 播種前・育苗期 1回/定植後・生育期 3回程度 ※約2-3週間/10a-15aの使用コスト
● 散布方法 ツールレススプレー・散布機・噴霧器・シャワー・等
● 散布後は水やり・雨・灌水を要します。 ※散布後は水やり・雨・灌水を要します。

株式会社レゾナック 基礎化学品事業部
http://www.resonac.com
kropico_info@resonac.com

新発売

